

【作成要領Ⅰ】

| | |
|--------------------|---|
| 団体名 豊見城市立豊見城小学校 | 連絡先 TEL：098-850-5377 Eメール：tomisyo@city.tomigusuku.okinawa.jp |
|--------------------|---|

Ⅰ 実践事項②

タイトル：「そろえる実践と自学自習力を育む取り組み」

- (1) 学習を支える力の育成（そろえる実践）
- (2) 朝の学習（ジンプナータイム）の充実
- (3) 家庭学習の工夫と自学自習の推奨
- (4) 漢字朝会を利用した漢字学習の取り組み
- (5) ICTの効果的な活用

2 実践内容

- (1) 学習を支える力の育成（そろえる実践）
 - ・『ジンプナーとみ小っ子』と題し、登校中～授業後までの一日の流れを14項目で具体的に示し、意識化を図る。
 - （登校中）①あいさつ
 - （登校後）②筆箱の中 ③机の中
 - （授業前）④机の中 ⑤ベル着
 - （授業中）⑥座り方 ⑦席の立ち方 ⑧挙手の仕方 ⑨返事の仕方
 - ⑩聞き方 ⑪話し方 ⑫発表の仕方 ⑬ノートの使い方
 - （授業後）⑭家庭学習
- (2) 朝の学習（ジンプナータイム）の充実
 - 火・木の朝学習時間プリント学習を行う（ジンプナータイム）。
 - 月曜日は朝の読書タイム、金曜日は全学級にてボランティアによる読み聞かせを行う。
- (3) 家庭学習の工夫と自学自習の推奨
 - 家庭学習強化月間の取り組み（6・11月）
 - 自学自習力の育成（6学年『夢かなえるノート』）
- (4) 漢字朝会を利用した漢字学習の取り組み
 - 年3回実施（6月、11月、1月）
 - 既習漢字の定着
 - 全学年、一斉にスタート（朝会の15分間を利用）
- (5) ICTの効果的な活用
 - クロムブックを活用した授業
 - 問題の共有
 - ミライシードを活用した、個別最適な学習
 - 校内ICT研修(グーグルフォーム、カフトなど)

3 説明資料

(1) 『ジブンナーとみ小っ子の一日』

- ①『ジブンナーとみ小っ子の一日』を活用し、
全体朝会で14個の約束をスライドショーで確認
【写真1】



- ②『ジブンナーとみ小っ子の一日』を各教室に掲示し、意識化を図る【図1】

ジブンナーとみ小っ子の一日(仮)

| | | |
|-----|---|--|
| 登校中 | あいさつ ①自分から進んで ②相手の目を見て ③元気な声で | |
| 登校後 | 筆箱 ①けすった2Bのえんぴつ(5本) ②赤ペン・青ペン ③消しゴム ④ネームペン ⑤定規 ※学年によって変更もあり | |
| | 机の中 整理せいとん 右:教科書・ノート・下じき 左:のり・はさみ・クーピー | |
| 授業前 | 机の上 筆箱は机の中へしまおう ※学年によって変更もあり 授業前 授業中 | |
| | ベルスタート チャイムと同時に 席に着き黙想 | |
| 授業中 | 座り方 背すじを伸ばし、いい姿勢! (上げきもちちんとはく) | |
| | | 席を立つ 机の下にイスを入れる |
| | | 挙手 手をのばし、「はい」は1回 |
| | | 返事 「はい」「いいえ」を、はきはきと |
| | | 聞き名人 ①話し手を見て ②終わりまできちんと ③静かに |
| | | お話し名人 ①聞き手を見て ②終わりまできちんと ③声の大きさを考えて |
| | | 発表 ①相手を意識して ②つなぎ言葉を使って ③主語・述語、「です」「ます」をつけて |
| | | ノートの使い方 ①月日、ページを書く ②定規を使う ③見やすく、ていねいに |
| | | 家庭学習 「家庭学習の手引き」を活用し、 自学自習の力をつける。 |

- ③12月末にアンケートを取り、実態の把握と次年度への取り組みの強化(グループフォーム活用)

(2) 朝の学習(ジブンナータイム)の充実

- ①実施日※水は、全体朝会など

| | 月 | 火 | 木 | 金 |
|-----|------|----------|----------|-----------|
| 全学年 | 朝の読書 | 基礎基本プリント | 基礎基本プリント | 読み聞かせ(読書) |

- ②タブレットを活用(ミライシード)【写真2】



(3) 家庭学習の工夫と自学自習の推奨

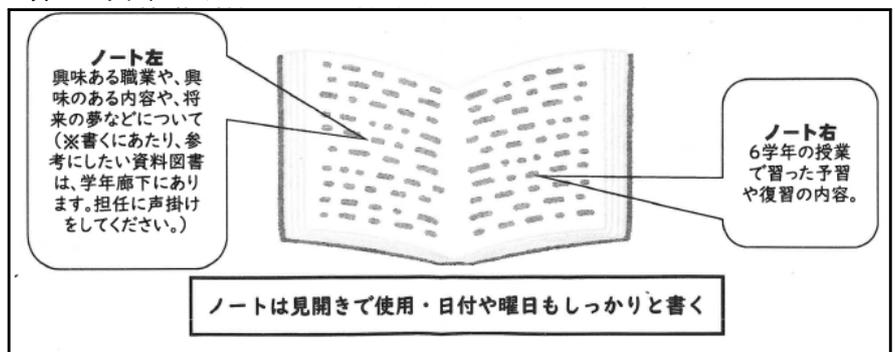
①家庭学習の良い例を廊下に掲示（3年以上で自学自習を推奨）【写真3・4・5】



②自学自習力の育成（6学年『夢かなえるノート』の実践）

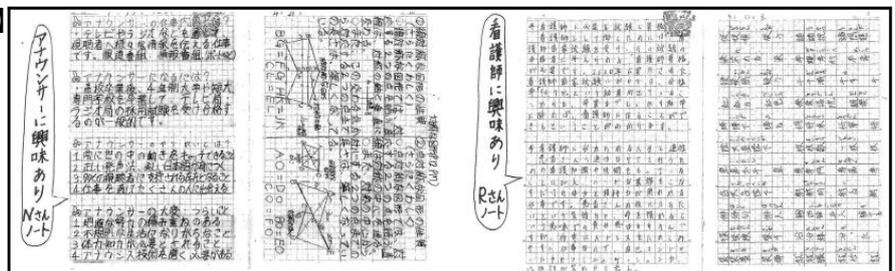
家庭学習の内容を見直し、なりたい自分に向かって自立的な家庭学習を目指す取り組み

- ・ノートの右ページ…6学年の予習や復習
- ・ノートの左ページ…①興味がある職業やつきたい職業について
 - ②将来やりたいこと
 - ③日頃から興味があること

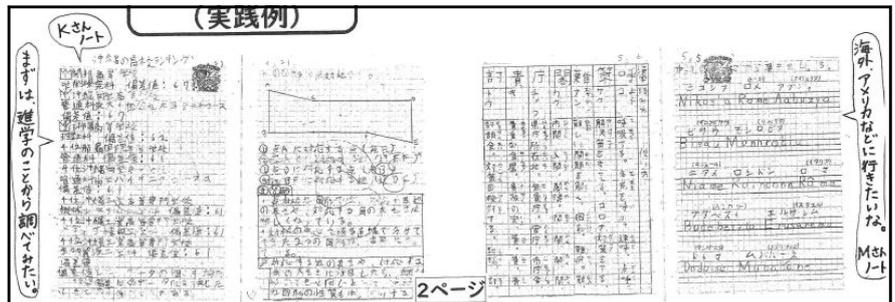


【実践例～児童のノートより～】

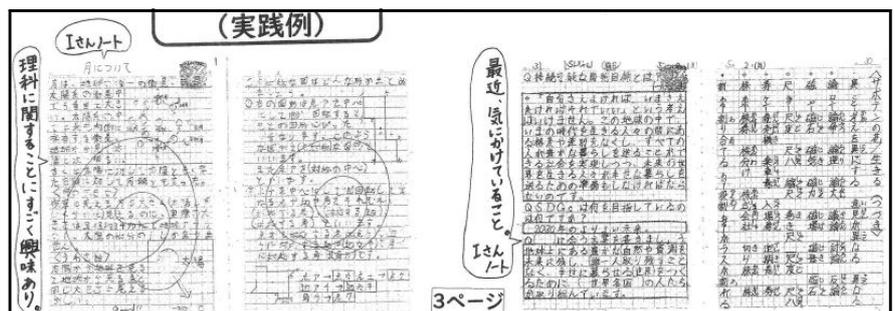
①興味がある職業やつきたい職業について



②将来やりたいこと



③日頃から興味があること



(4) 漢字学習の取り組み

①ジブナータイム(朝の学習)での漢字学習【写真6】

②年3回の「漢字朝会」の実施で、全校体制で漢字を習得する取り組み【写真7・8】



朝の学習の様子【写真6】



各教室で漢字朝会【写真7】



放送室からオンライン朝会【写真8】

(漢字朝会での80%以上児童の達成率)

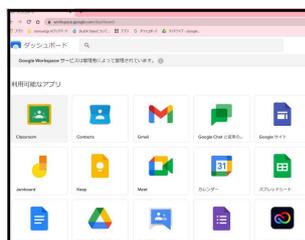
| | 6月 | 11月 | 1月(※1/24に実施) |
|------------|--|--|-------------------------------|
| 内容 | 5月までの漢字 | 10月までの漢字 | 学年のまとめ |
| 達成率 (%) | (低学年) 63.9 (中学年) 24.9 (高学年) 74.0 | (低学年) 31.6 (中学年) 49.2 (高学年) 66.7 | (低学年) ※ (中学年) ※ (高学年) ※ |

※中学年は6月に比べて向上し、高学年は6~7割が達成できている。漢字検定をPTAの協力の下年間2回実施しており、それぞれ90名程度の児童が受験するなど、意欲関心が高まりがみえる。

(5) ICTの効果的な活用

①クロムブックを活用した授業【写真9・10】

②ミライシードの活用【写真9】



クラスルーム・ドライブの活用【写真9】 問題の結果を共有【写真10】

4 成果

- ICTを効果的に活用することで、児童が機器に慣れ親しみ、主体的に取り組む姿が見られた。
- そろえる実践を通して、学習を支える力が身についてきた。
- 3年生以上で自学自習を推奨し、家庭学習の仕方を見直すことで自学自習力が身についてきた。
- ジブナータイム(朝の自習)を活用し、基礎基本が定着しつつある。
- 全児童で漢字朝会取り組むことで、読み書きの意識づけを全校体制で充実させることができた。

5 課題

- 基礎基本の定着を図る取り組みを継続する必要がある。
- 教職員のICT活用技術向上に向けて研修を前半はできたが、後半にできなかった。ICT活用技術を職員間で共有する時間が必要である。
- 自学自習力を意識した家庭学習のさらなる見直しと、ICTを活用した個別最適な学びの場の工夫が必要である。